

大総務第9号
令和3年4月26日

大阪市外郭団体評価委員会

委員 市口 恭司 様

委員 佐藤 陽子 様

委員 野村 祥子 様

委員 堀野 桂子 様

委員 水上 啓吾 様

大阪市総務局長 田中 義浩
(担当：行政部総務課法人グループ)

諮問書

本市の外郭団体である公益財団法人大阪国際交流センターに係る次の中期目標の変更について、大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例施行要綱第12条第3項の規定に基づき同法人の所管所属長である大阪市経済戦略局長から依頼があったので、同項の規定により諮問します。

記

中期目標変更案 別紙のとおり。

外郭団体が達成すべき事業経営に関する目標【中期目標】

1 外郭団体名

公益財団法人 大阪国際交流センター

2 所管所属名

経済戦略局

3 中期目標の期間

令和2年12月1日～令和6年3月31日

4 本市が行政目的又は施策の達成のために当該外郭団体に求める役割を果たすために当該外郭団体が行うべき事業経営に関する事項

(1) 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容

本市に居住する外国人住民を、公的支援の受け手という視点に加えて、主体的に大阪をともにつくる担い手と位置づけ、外国人住民のもたらす多様性を活かし、活力あふれる魅力あるまちづくりをめざすというビジョンのもと、外国人住民が、地域社会の一員として地域と交流し、安全・安心で快適に暮らし活躍できる多文化共生社会を実現していくための取組を進めていくこと。

(2) 中期目標の期間終了時において(1)の行政目的又は施策によって実現しようとする状態

国籍や民族の異なる人々が互いの文化を認め地域社会の一員として共生することができる社会の実現に向けて、外国人住民が多文化共生の担い手として共に地域社会において活動すること（※）について、当該地域社会の住民の理解が深まり、当該活動を促進しようとする意識が高まっている状態

※ 「外国人住民が多文化共生の担い手として共に地域社会において活動すること」とは、例えば、外国人住民が地域行事に参加あるいは運営側として参画することなどを通じて地域社会において日本人住民と交流し、自国の文化や習慣などを地域の住民と共有することによって、地域社会における多文化理解を深めるとともに、共に地域社会を担うパートナーとしての意識を醸成していくといったことなどをいう。

(3) (2)の状態を客観的に示す指標及び当該指標による目標（可能な限り定量的なもの）

（指標）

「外国人住民が多文化共生の担い手として地域社会において共に活動することを期待する」と考えている住民の割合

（目標）

~~現状把握のため、インターネット等を活用して当該外郭団体が実施する事業への参加者等を対象とするアンケート調査を行った上で、その調査結果を踏まえて設定する。~~

指標の測定方法の決定及び目標値の設定のスケジュール

令和2年度末までに現状把握のための調査を完了

令和3年度第1四半期までに、現状把握のための調査の結果を踏まえて指標の測定方法を決定するとともに、目標値を設定

令和3年度時点 67%

令和4年度時点 68%

令和5年度時点 70%

(4) (2)の状態にするために当該外郭団体が行うべき事業経営の具体的な内容

(2)の状態にするためには、「多文化共生の担い手として地域社会において活動する」意欲のある外国人住民を発掘して、その活動の機会を提供し活動を支援していくとともに、こうした外国人の活動を周知していくことが重要である。

そのため、外国人住民が自らボランティア等として地域で日本人住民と交流したり、地域での活動に関わったりする機会の提供を計画的に進めるとともに、こうした活動を行う外国人が活動の情報を自ら広く発信できる場としてウェブサイトを整備し運営する。

【外国人住民の地域社会における活動の機会の提供】

・ 外国人住民の活動参加促進

外国人住民が参加や参画を通じて地域社会において日本人住民と交流する機会となる事業を実施する。

・ 留学生の活動機会の提供

将来の高度外国人材であり、語学力等からも活動のスキルが高く、地域において外国人住民と日本人住民の相互理解や交流の橋渡し役としても期待できる留学生の地域社会における活動を促進するため、大学・各種学校と連携し、こうした留学生に活動の機会を提供する。

【多文化共生についての理解促進に向けた住民への情報発信】

・ 地域住民の多文化共生についての理解促進に向けた情報発信に関するスキルを有する人材の発掘及び当該人材による情報発信の支援

自国の文化紹介や日本での生活情報の発信に関するスキルを有する外国人住民その他の外国人の人材を発掘し、登録する制度を構築し運営する。

発掘し登録した外国人の人材がそのスキルを活かし、多文化共生についての理解促進に向けた情報を地域社会の住民に広く発信することができる場としてウェブサイトを整備し運営する。

・ 外国人の地域社会における活動についての認知度の向上

地域関係団体に外国人の地域社会における活動を紹介する。

地域関係団体をはじめ地域社会全体への広報その他の情報発信を連携して行う活動団体や事業者を発掘し、連携した情報発信を行う。

(5) (4)の事業経営の(2)の状態(成果)への貢献度を示す指標の例(可能な限り定量的なもの)

【外国人住民の地域社会における活動の機会の提供】

・ 外国人住民が参加や参画を通じて地域社会において日本人住民と交流する機会となる事業の実施回数

・ 留学生の活用に向けて連携した大学・各種学校の数

- ・ 留学生に活動の機会を提供した件数
など

【多文化共生についての理解促進に向けた住民への情報発信】

- ・ 情報発信に関するスキルを有する人材の登録者数
- ・ ウェブサイトを通じた情報の発信件数
- ・ 地域関係団体への活動の紹介件数
- ・ 情報発信を連携して行う活動団体や事業者の発掘件数
など

5 制定日

令和2年11月13日

令和3年4月 日 改定

【外国人住民の地域活動に関するアンケート】

(公財) 大阪国際交流センターの取組の参考とするためのアンケートです。回答いただいた内容は、今後の施策検討に活用させていただきます。回答いただいた方の承諾なく、個別のご回答内容の公表はいたしません。

用語について

住民基本台帳法では、日本の国籍を有しない者のうち市町村の区域内に住所を有する者を「外国人住民」としています。

なお、大阪市では、外国籍の人だけでなく、日本国籍を取得した人や、親が外国籍である子どもなど、国籍は日本であっても外国籍の人と同様の課題を抱えている場合があることから、これらの人々も視野に入れて施策・事業に取り組むこととしています。

下記の質問について、あてはまる回答の選択肢の番号を右の回答欄に書いてください。

No.	質問	回答の選択肢	回答欄
1	大阪市内にお住まいですか？	1 はい 2 いいえ	
2	大阪市内でお仕事や通学をしていますか？	1 大阪市内で仕事をしている 2 大阪市内の学校等に通っている 3 どちらもあてはまらない	
3	(公財) 大阪国際交流センターを知っていますか？	1 施設(建物)は知っている 2 団体を知っている 3 知らない	
4	(公財) 大阪国際交流センターの行う事業やイベントに参加したことがありますか？ (参加したことがある方へ) よろしければ、いつごろ、どのような事業・イベントに参加したか教えてください。	1 参加したことがある 2 参加したことがない 3 分からない	
5	あなたは、近所にお住まいの方と交流(挨拶など)がありますか？	1 ある 2 時々ある 3 あまりない 4 ない	
6	あなたは、近所にお住まいの外国人住民と交流(挨拶など)がありますか？	1 ある 2 時々ある 3 あまりない 4 ない 5 分からない	
7	あなたは、お住まいの地域で、地域コミュニティに参加したり、行事などの地域活動に参加したりしていますか？(あてはまる回答選択肢の番号をすべて書いてください) 地域活動の例：防災訓練、夏祭りや盆踊り、もちつき大会など	1 町会や自治会などのコミュニティに加入している 2 子どもの通う学校園のPTAで役員をしている・していた 3 地域活動に参加している 4 加入も参加もしていない	
8	あなたは、お住まいの地域で、もっと多くの方に、地域活動に参加してほしいと思いますか？	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 分からない	
9	あなたは、お住まいの地域で、外国人住民にも地域活動に参加してほしいと思いますか？	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 分からない	
10	あなたは、外国人住民が地域の活動に参加することで、多文化共生社会に近づくとお思いますか？ ※多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと よろしければその理由を教えてください。	1 そう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 分からない	
11	あなたは、外国人住民が地域社会において日本人住民と共に活動することを期待しますか？ よろしければその理由を教えてください。	1 期待する 2 やや期待する 3 あまり期待しない 4 期待しない 5 分からない	

■別紙2：外国人住民の地域活動に関するアンケート 調査結果

調査の概要

【実施期間】R2.12.18～R3.3.15

【実施方法】

- ・行政オンラインシステム（日本語のみ対応）
- ・（公財）大阪国際交流センター事業参加者への紙配付（多言語対応）

【有効回答】

行政オンラインシステム	333件
紙配付	16件
合計	349件

設問ごとの調査結果

1. 大阪市内にお住まいですか？

はい	185件	53.0%
いいえ	164件	47.0%

※問2以下は、「全体」と「市民（問1で「はい」と回答した方）」の両方の数値を記載

2. 大阪市内でお仕事や通学をしていますか？

	全体		市民	
大阪市内でお仕事をしている	316件	90.5%	166件	89.7%
大阪市内の学校等に通っている	11件	3.2%	4件	2.2%
どちらもあてはまらない	22件	6.3%	15件	8.1%

3. （公財）大阪国際交流センターを知っていますか？

	全体		市民	
施設（建物）は知っている	109件	31.2%	58件	31.4%
団体を知っている	190件	54.4%	95件	51.4%
知らない	50件	14.3%	32件	17.3%

4. （公財）大阪国際交流センターの行う事業やイベントに参加したことがありますか？

	全体		市民	
参加したことがある	52件	14.9%	27件	14.6%
参加したことがない	273件	78.2%	149件	80.5%
分からない	24件	6.9%	9件	4.9%

・よろしければ、いつごろ、どのような事業・イベントに参加したか教えてください。

ワンワールドフェスティバル（11件）、日本語講座（2件）、その他

5. あなたは、近所にお住まいの方と交流（挨拶など）がありますか？

	全体		市民	
ある	128件	36.7%	67件	36.2%
時々ある	115件	33.0%	60件	32.4%
あまりない	70件	20.1%	36件	19.5%
ない	36件	10.3%	22件	11.9%

6. あなたは、近所にお住まいの外国人住民と交流（挨拶など）がありますか？

	全体		市民	
ある	21件	6.0%	15件	8.1%
時々ある	33件	9.5%	24件	13.0%
あまりない	69件	19.8%	32件	17.3%
ない	202件	57.9%	103件	55.7%
分からない	24件	6.9%	11件	5.9%

7. あなたは、お住まいの地域で、地域コミュニティに参加したり、行事などの地域活動に参加したりしていますか？（複数回答可）

	全体		市民	
町会や自治会などのコミュニティに加入している	171件	49.0%	83件	44.9%
子どもの通う学校園のPTAで役員をしている・していた	52件	14.9%	24件	13.0%
地域活動に参加している	67件	19.2%	31件	16.8%
加入も参加もしていない	145件	41.5%	90件	48.6%

8. あなたは、お住まいの地域で、もっと多くの方に、地域活動に参加してほしいと思いますか？

	全体		市民	
そう思う	89件	25.5%	52件	28.1%
ややそう思う	127件	36.4%	64件	34.6%
あまり思わない	49件	14.0%	24件	13.0%
思わない	25件	7.2%	13件	7.0%
分からない	59件	16.9%	32件	17.3%

9. あなたは、お住まいの地域で、外国人住民にも地域活動に参加してほしいと思いますか？

	全体		市民	
そう思う	122件	35.0%	67件	36.2%
ややそう思う	111件	31.8%	55件	29.7%
あまり思わない	33件	9.5%	14件	7.6%
思わない	18件	5.2%	12件	6.5%
分からない	65件	18.6%	37件	20.0%

10. あなたは、外国人住民が地域の活動に参加することで、多文化共生社会に近づくとお考えですか？

	全体		市民	
そう思う	156件	44.7%	85件	45.9%
ややそう思う	117件	33.5%	55件	29.7%
あまり思わない	30件	8.6%	16件	8.6%
思わない	14件	4.0%	10件	5.4%
分からない	32件	9.2%	19件	10.3%

よろしければ、その理由を教えてください。

【そう思う】価値観が違うから／知ることによって受け入れやすくなる／交流しないと理解しあえない 他

【ややそう思う】顔が見える関係づくりができる／交流が相互理解につながる 他

【あまり思わない】つなぐ人間がいないと参加しているだけでは結びつかない／

共に生きていこうという姿勢を感じない 他

【思わない】日本人が地域活動に参加している土台ありき／

交流だけではお互いの価値観を理解できない 他

【分からない】外国人住民の意思次第だから／交流したことがない 他

1 1. あなたは、外国人住民が地域社会において日本人住民と共に活動することを期待しますか？

	全体		市民	
期待する	160件	45.8%	85件	45.9%
やや期待する	103件	29.5%	54件	29.2%
あまり期待しない	39件	11.2%	15件	8.1%
期待しない	17件	4.9%	11件	5.9%
分からない	30件	8.6%	20件	10.8%

よろしければ、その理由を教えてください。

【期待する】新しい何かが生まれそう／外国人と遊びたい／高齢化・人口減少社会に必要な 他

【やや期待する】外国人も地域住民／偏見、差別意識の解消の醸成に寄与する可能性 他

【あまり期待しない】日本人住民と共に活動することを望むのであれば期待したい／永住しないから 他

【期待しない】価値観や言語が異なるので影響がある／日本人にも同じく期待しない 他

【分からない】文化的な違いによるトラブルが心配／本人たちの希望次第 他

■別紙3：外国人住民の地域活動に関するアンケートを踏まえた目標設定の考え方

1 指標を測定する値について

問 10,11 両方ともに肯定的回答をした割合を測定した値とする。

- **考え方** 指標を構成する要素は二つである。網掛け部分は問 10、下線部は問 11 で調査し、両方ともに肯定的回答をした数を調査対象数値とする。

「外国人住民が多文化共生の担い手として地域社会において共に活動することを期待する」と考えている住民の割合

また、令和 2 年 11 月 5 日答申での意見を踏まえて問 9 までの質問を構成した。問 8、9 により、回答者に、自己の居住する地域における意識をまず想起させたうえで、問 10、11 を問うことにより、一般論ではなく自分ごととして考え答えていただくことが狙いである。

2 アンケート結果のクロス分析

①中期目標値の設定に向けた現状把握

項目	全体			市民		
	回答	母数	%	回答	母数	%
10・11とも肯定的回答をした人の割合	237	349	67.9%	124	185	67.0%

②【検証】母数を限定し、それぞれにおいて 10・11 とも肯定的回答をした人の割合を測定

(1) 視点：地域での外国人との交流

項目	全体			市民		
	回答	母数	%	回答	母数	%
地域で外国人と交流がある・時々ある方	46	54	85.2%	33	39	84.6%
地域で外国人と交流がない・あまりない方	177	271	65.3%	86	135	63.7%

(2) 視点：法人とのかかわり

項目	全体			市民		
	回答	母数	%	回答	母数	%
団体を知っている方	131	190	68.9%	67	95	70.5%
団体を知らない方	106	159	66.7%	57	90	63.3%
事業参加者	42	52	80.8%	22	27	81.5%
事業未参加者	195	297	65.7%	102	158	64.6%

3 アンケート結果から読み取れる傾向

- ① 大阪市内と市外とで、傾向に大きな差は見られない。
- ② 地域の方と交流がある人は市内・全体ともに 7 割近いのに対し、地域の外国人住民と交流がある人は市内では 16%、全体で 21%である。
(問 5、6 結果参照)
- ③ 地域において外国人住民と交流がある人に限ると、指標についての肯定的回答は 85%である。

一方、地域において外国人住民と交流がない人に限ると、肯定的回答は 64%である。

(上記 2② (1) 参照)

④ 大阪国際交流センターへの関わりが大きいほど、指標について肯定的回答が増える。

(上記 2② (2) 参照)

⑤ 外国人住民の地域活動参加を望む・期待する人の割合は、「自分の居住する地域において」という限定をかけない場合のほうが高い。

(問 9、11 結果参照。問 9 の肯定的回答 66.8%、問 11 の肯定的回答 75.4%)